

ごみ

	効果の概要	数字のデータ
ペットボトルのラベルを剥がす	ラベルを剥がすことで、ペットボトルのリサイクルがしやすくなる！	ペットボトル1本につき約110 g 分のCO2を削減！ 人が約2時間呼吸した分くらい削減ができます。
服を長く着る	石油由来の素材の焼却処分時に発生する温室効果ガス抑制！	服を長く着たり、古着を利用して、1年あたりの衣類購入量を1/4程度に抑えた場合、年間0.19トン（1人あたり）の温室効果ガスを削減できます。
レジ袋を辞退する	レジ袋を辞退し、廃棄する量を減らすことで、環境負荷を減らすことができる！	日本のプラスチックごみ排出量のうち2%を占めるレジ袋を辞退することで13万6千tのプラスチックごみを削減できる（クロサイ13頭分に相当）
油を流さない	水と一緒に流れ出る油分が少なくなり、川や海の環境を守ることにつながります！	てんぷら油200mlを、生き物が住めるまでに浄化するには約399000ℓ（お風呂約133杯分）の水が必要です！ 適切に油を処理することで、それほどの節水や生き物の保護につながるのです。

○くらし 生活における環境配慮行動

	効果の概要	数字のデータ
LED電球	消費電力が少ない 省エネ	電球型蛍光灯と比較して1年間あたり約7293円の電気代削減が可能
使用时以外コンセントを抜く	待機電力の削減	機器本体の主電源スイッチオフでの待機電力は約19%削減 プラグ自体を抜いて電気を遮断すると約49%の削減
アイドリングストップ	燃費向上・燃料の節約	毎日1時間アイドリング時にエンジン停止すると、年間2~4万円の燃料代を節約することが可能。 燃料は10分間で約0.15~0.2L削減。
残り湯洗濯	水道代の節約 無駄な水を使わないことで環境に優しい 温室効果ガス排出量(GHG)削減	<ul style="list-style-type: none">・年間約3000~5000円の節約・一般的な洗濯機の使用時と比較して、GHG排出量59%削減
スマートトムーブ (自転車や徒歩など移動手段を工夫して変える)	二酸化炭素排出量削減 健康に良い	<ul style="list-style-type: none">・片道15km(往復30km)の自転車通勤1年間続けると自家用車に比べ約1.25トンの二酸化炭素の排出量を削減。・健康面では脂肪の燃焼、筋力アップ、朝には脳の活性化、夜にはリラックス効果がある。

買い物

環境配慮行動	効果の概要	数字のデータ
ノントレー包装	トレーを生産・廃棄する際に発生するCO2削減	食品トレーからポリ袋（100g相当の肉用）に変えることで、生産時・廃棄時に発生するCO2を 19g 減らすことができる。（CO2を85%削減）
マイボトルの使用	ペットボトルを生産・廃棄する際に発生するCO2削減	使い捨てプラスチックではなくマイボトルを費用することで、CO2を 76g 削減できる。
レジ袋辞退	レジ袋を生産・廃棄する際に発生するCO2削減	レジ袋を使用しないことで、生産時・廃棄時に発生するCO2を 33g 削減できる。
国産の商品を買う	輸送時に発生するCO2削減	東京でブロッコリー1個買った場合、米国産のものを購入するのに比べ、愛知県産を購入するとCO2を 38g 削減できる。

生き物

できること	効果の概要	数字のデータ
アニマルフリーの製品を買う	<p>羽毛や毛皮のため犠牲になる動物を減らすことができる</p> <p>毛皮採取のための動物集約飼育による人獣共通感染症の拡大防止につながる</p>	<p>日本は現在も60万頭分の動物の毛皮を輸入している。</p> <p>2020年以降毛皮のために飼われている欧米の430以上のミンク農場で新型コロナウイルス感染が確認され、ヒト→ミンク、ミンク→ヒトへの感染もみられた。</p>
牛肉、乳製品を食べる量を減らす	<p>ウシ自身が呼吸や排泄物などで温室効果の高いメタンガスを多く排出するため、食べる量を減らすことはこれらを減らすことにもつながる</p>	<p>世界中の牛などの胃腸から排出されるメタンの量は年間20億t (二酸化炭素換算)</p> <p>温室効果ガスの4%を占め、1つの国の排出量に匹敵している。</p>